

2023年5月31日

## 会長就任挨拶

一般社団法人日本アルミニウム協会  
会長 水口 誠  
(株式会社神戸製鋼所 副社長執行役員)

本日の理事会におきまして、昨年度に引き続き令和5年度の日本アルミニウム協会会長に選任されました水口でございます。サプライチェーンを通じた価格転嫁や、脱炭素社会の実現に向けたカーボンニュートラルと資源自律経済の促進など、アルミ業界として対応が求められている重要案件に対して、しっかりと対応していくため、今年度から会長、副会長の任期を2年とすることといたしました。なにとぞ、よろしくお願いいたします。

昨年度を振り返りますと、22年2月に始まりましたウクライナ紛争を契機として、電力や原油、重油、LNGなどのエネルギー・原燃料、さらに物流費や副資材などが値上がりし、アルミ業界としても大きな影響を受けました。また、半導体不足や部品供給不足などサプライチェーンの混乱が続いたことなどにより、国内の自動車生産台数も伸び悩み、自動車向けアルミ材やリチウムイオン電池向けアルミ箔などの需要も影響を受け、2022年度のアルミ圧延品出荷全体では前年度比▲5.8%のマイナスとなりました。

2023年度のアルミ圧延品出荷については、自動車生産の回復などを見込み、前年度比+1.9%と見通しております。一部の品種では明るい兆しが見えているものもあり、早期に立ち上がってくれることを期待しております。

我が国のアルミニウム産業において、取り組むべき重要課題についてお話いたします。

一つは、コストの適正な価格転嫁です。昨今の原材料価格やエネルギー価格、労務費等の高騰への対応、また、経済の好循環をもたらす賃上げを実現させていくためには、サプライチェーンを通じた価格転嫁の実現が必要不可欠と認識しております。

当協会におきましては、昨年12月にアルミ製品製造に係るコスト及び価格転嫁の状況に関するアンケート調査を実施し、結果を公表いたしました。

エネルギーコスト、物流・梱包コスト、副原料コスト、部品コスト、労務費コストのいずれも上昇しているにもかかわらず、価格への転嫁状況については6割近い企業が「転嫁できていない」と回答されました。とりわけ、エネルギーコストは21年9月から22年9月の一年間で1.5倍に上昇したとの結果でした。

エネルギーコストをはじめ諸物価は引き続き高騰し続けており、価格転嫁に向けた取り組みを継続していくことは重要であると考えております。

もう一つの重要な課題は、脱炭素社会の実現に向けたアルミ資源循環への取り組みについてです。

アルミニウムは、軽量性、耐食性等の特長によりSDGsが描く環境に優しい経済社会の実現に向けてソリューションを提供できる素材です。アルミニウムの利用拡大そのものが地球環境に貢献できることに加え、優れたリサイクル性を有していることから、資源循環型社会や脱炭素社会の実現、経済安全保障にも貢献できます。アルミ業界として、これらカーボンニュートラルや資源循環など脱炭素社会の実現に向けた活動を推進するための新たな委員会「サーキュラーエコノミー委員会」を6月1日付けで設置することといたしました。

新地金を使用したアルミ展伸材と比較し、リサイクルアルミを使用した場合のCO<sub>2</sub>負荷は約1/30です。リサイクルアルミの使用率を増やすことはCO<sub>2</sub>削減に大きく寄与します。しかし近年、アルミスクラップの海外流出が急増しており、その量は2022年度約43万7千トンで、CO<sub>2</sub>に換算しますと470万トンにも上ります。国内CO<sub>2</sub>排出量の0.44%に相当する量であり、アルミスクラップの国内循環の促進が喫緊の課題となっております。

サーキュラーエコノミー委員会では、アルミ展伸材の国内循環、水平リサイクルに向けて主に次の4つの「革新的アルミ資源循環」に資する活動を推進して参ります。

- 1つ目は、研究開発・実証
- 2つ目は、設備開発及び、実証・商業設備の設置
- 3つ目は、標準の制定、認証制度の検討、トレーサビリティシステムの構築
- 4つ目は、サプライチェーンとシステムの構築

これらの活動を通じて、『アルミニウム VISION2050』で掲げた、アルミ展伸材におけるリサイクルアルミ使用率を現状の10%程度から2030年に30%、2050年に50%を目指すという野心的な目標に対して、産学官連携した体制で取り組んで参る所存です。

協会の基盤活動である「適正な価格転嫁活動の支援」「脱炭素社会の実現に向けたアルミ資源循環の促進」「新規需要の開拓」「広報活動の強化」「人材育成」などに対して、これから1年間、私と同様に2期目となります、石原副会長、楠本副会長とともに誠心誠意取り組んでまいる所存ですので、会員の皆様、関係省庁、ユーザー業界、大学の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様のご健勝と業界の益々の発展を祈念いたしまして、会長再任のご挨拶とさせていただきます。

以 上